

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年7月29日

上場会社名 コスモ石油株式会社 (コード番号：5007 東証・大証・名証各第1部)

(URL <http://www.cosmo-oil.co.jp>)

(TEL (03) 3798 - 3101)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役会長兼社長 岡部 敬一郎

責任者役職・氏名 企画一部長 桐山 浩

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無： 無

## 2. 平成16年3月期第1四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 売上高 (百万円)

	売上高
平成16年3月期第1四半期	467,964
(参考)平成15年3月期	1,902,767

(注) 当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績については記載しておりません。売上高の数値は監査法人による監査を受けておりません。

#### [売上高に関する補足説明]

当第1四半期における我が国経済は、株式市況の持ち直し等一部に回復の兆しも見られましたが、雇用情勢・所得水準などの個人消費を取り巻く環境は依然として厳しく、景気は低迷基調のうちに推移しました。このような状況のもとで、単独での販売数量は、景気の影響を受けて軽油は減少したものの、ガソリンはほぼ前年並に推移していることに加え、灯油・A重油が増加したこと、電力向けC重油も大幅に増加したこと等により、1,000万klと前年同期比102.9%となり、売上高は3,838億円となりました。

連結子会社につきましても順調に推移しており、当第1四半期の連結売上高は4,680億円となりました。

### (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

#### [概要]

該当事項はありません。

なお、当第1四半期の国内製品市況は当初公表時の想定どおり、やや弱含みで推移しております。一方で、原油コストは当初想定に比べ下落し、また為替相場も円高基調となっております。以上の結果、単独での第1四半期の収益面においては、当初想定していた以上の総平均法による在庫評価の影響を受け（公表時想定 通期で100億円）、売上原価を押し上げる要因もありましたが、概ね計画どおりとなっております。連結子会社につきましても石油開発部門をはじめとして計画どおりの収益確保が図れており、ほぼ前期決算公表時の業績予想どおりとなっております。

また、今後の製品市況及び原油価格動向にもよりますが、第2四半期につきましても概ね計画どおりに推移するものと想定しております。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	970,000	8,000	2,000	
通期	1,940,000	27,000	11,000	17 43

[業績予想に関する定性的情報等]

当該四半期における業績は、概ね計画どおりに推移しており、中間期及び通期の業績予想の修正はありません。

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。  
実際の業績は、今後様々な要因により上記の予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上